

---

# とあるmixiの片思いと友情の結末。

花咲紅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

とあるmixiの片思いと友情の結末。

### 【Nコード】

N5405P

### 【作者名】

花咲紅

### 【あらすじ】

既婚者である私に結婚する予定の男の友人が告白してきた。  
私がとった行動は・・・

2008年09月28日

マイミクで再婚すべく遠方から彼女Xさんと子供を呼び寄せた人Qから、Xに関する相談を受けた。でも、そのときに「本当の理想の人は紅ちゃんただけだな」と言われた。

前々から、「紅ちゃん大好き」とか冗談っぽく言ってたことあるけどばれられ。いきなり遠距離ドライブしたとか言って、近所まで来られたことはあったから、なんとなくその想いには気が付いてた。でも、もともと私は私を頼りにする人よりも頼れるの方がタイプ。その他、前々から一日5回近く更新される絵文字が日記の内容関係なく「(´・ω・｀)」。しかも、内容がニュースの引用日記で文章も一文か2文だけ。友人としては面白い人って思ってた。

けど、そんなことよりもなによりも、そんな気持ちで結婚しようとしている姿勢があまりにもXさんに対して失礼。気持ち悪い。Qは理由を言わずミク切りされるのをとても嫌がる人。それであえて即ノンメッセでミク切りしました。もともと、XさんとはQに言われたので断りきれずにまいみくになったけど、彼女のためを思って彼女も切った。

その後、

「マイミク外される時に

2008年09月28日05:35 別にリンク外すのは良いとしても、何か一言あって然るべきだよな。」

と日記に書かれたので思わず笑ってしまった。何でわからないの。。

**2010年12月15日（前書き）**

QとXさんのその後と一通の手紙

2010年12月15日

久しぶりにミク切りしたQのページを拝見した。切った当時結婚を考えていた女性のXさん（この人はあまり好きではなかったけど、Xとの結婚相手になる人とのことで仕方なくマイミクになった）のことに關して何も記されてない。過去日記を見たところこんな記述があった。

\*\*\*\*\*

Xの代わりに 2008年11月26日14..43

皆様、特にXのマイミクの皆様、この度はXがやたら迷惑を掛けてしまつて、大変申し訳ありませんでした。

Xに代わりまして、御詫び申し上げます。

皆様の暖かい、言葉を選んだコメントに、Xが何を考えているか解りませんが、Xが「話し合い」の土俵に上がらない限り、いや、上がったとしても、どうせ自分の日記に恨みつらみ書くでしょうから、復縁は絶対有り得ません。

少しでも良いから、批判的な意見にも耳を傾ける姿勢を示して、自分が変わらない限り、周りも理解しない。それが全くないから、別れを決意しました。

\*\*\*\*\*

一筆とつた。

\*\*\*\*\*

題名 わたくしがXさんをミク切りした理由を説明致します。

日付 2010年12月15日 14時18分

お久しぶりです。

この題名のことをいつかは書こうと思っていました。

一緒になって幸せになったかなあといい、ひさしぶりにXさんのTOPをみたら、Qさんの話が出てこない。ちょうど、QさんとXさんと一緒になったあたりの過去の日記をたどっても、Xさんの御嬢さんが書いた絵の画像が出てこない。ので、探したのですが、そういうことだったのですね。

今こそ話す時だと思いお話致します。

覚えてますでしょうか。XさんとQさんが結婚するという話が本格的になっている最中、Xさんは「本当に理想な人は紅たんなんだけどな」というようなメッセを下さいましたね。あの一言が原因です。

実は、Qさんの私に対する態度を私は前々から感じてました。ただ、大変申し訳ないのですが、私はQさんはタイプではないんです。私はよく男友達に頼られることが多いのですが、本来は頼られるより頼るほうが好き。ただ、私と同じグレードで解決策を持っている人間はそうはいない。仕方なく頼りがいのある人間を演じているだけ。男女関係なく私が頼りたいときに受け入れる人の方が友人としては好きなんです。

子連れの女性が仕事を辞めてまで800k以上も離れた場所へ再

婚をするべく引っ越しをするというのはとても覚悟がいること。心が他にある男性と一緒になる女性、そして、御嬢さんのことを考えたらXさんの心に私がいるという状況に私自身が耐えられなかったです。

Qさんは私のタイプでない。しかも、Qさんが私のことをすつきりしないままXさんと一緒になろうとしている。更にXさんは子連れで引っ越ししてまで一緒になろうとしている状況。私が友達としてという状態でQさんとかかわりを持続けることは、生傷に塩を入れるのも一緒。

それなら、私悪役になりXさんが嫌がる方法でばっさり切ればすつきりした状態でXさんと一緒になれる。そう判断したからです。

そうです。私にとってXさんをばっさり切ったのはお二方に対する私なりのご祝儀でした。

お二方がうまくいかなかったのは個人的には残念ですが、3人にとってそれが最良の選択でしたならそれはそれでよかったと思います。

それでは失礼いたします。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

もうお互いの人生にお互いが現れることはないかな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5405p/>

---

とあるmixiの片思いと友情の結末。

2010年12月25日19時44分発行